

水・人・歴史がおりなす

かんざきを歩こう 散策マップ

発行

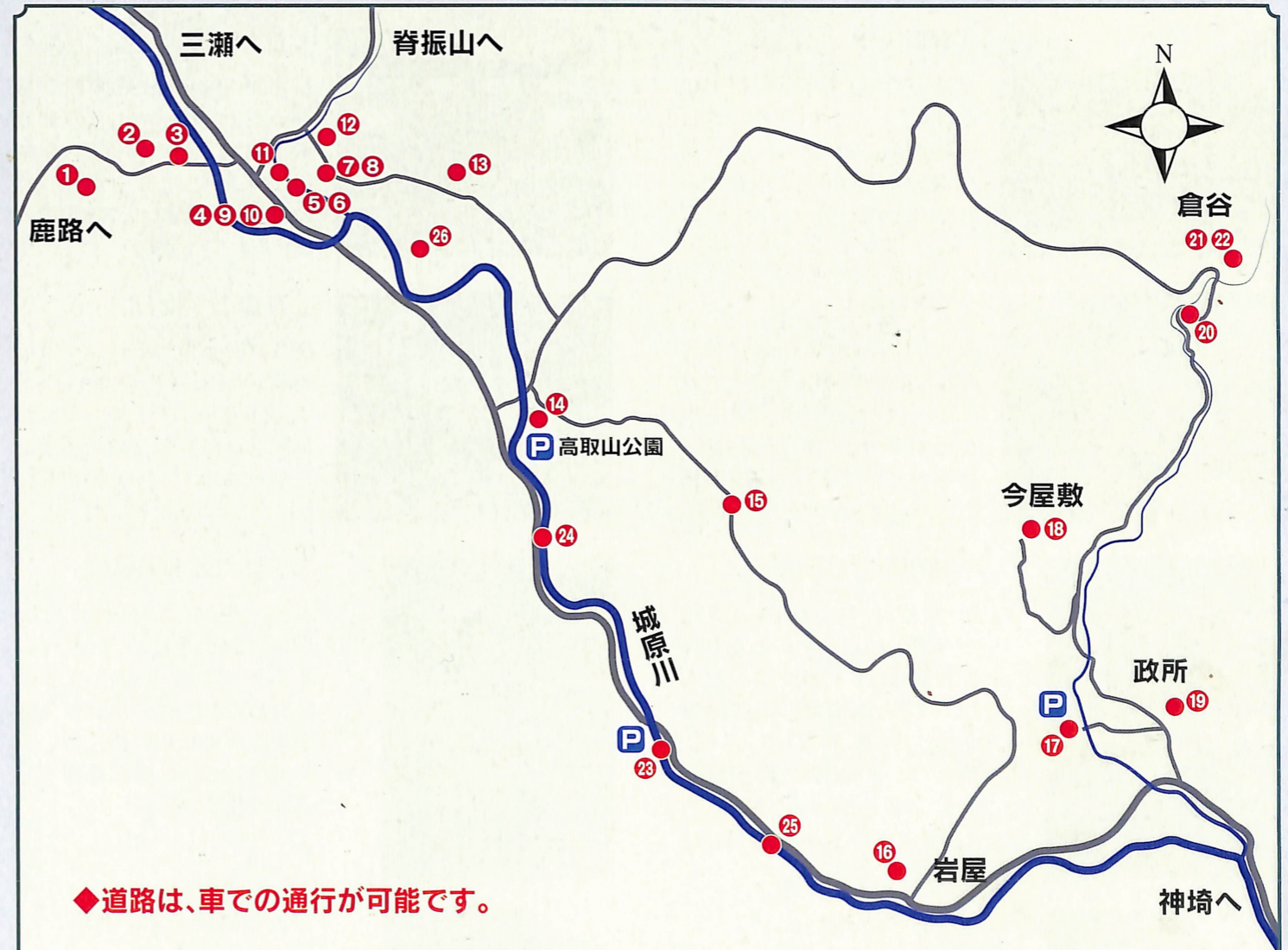
神崎市役所 総務企画部
政策推進室 ☎0952(37)0153



No.15 散策マップの位置と範囲

かんざきを歩こう
No.15

脊振町 広滝地区 散策マップ



◆道路は、車での通行が可能です。

- | | | | |
|------------|-----------------|-------------|------------|
| ① 広滝山城跡 | ⑧ 志波六郎助顕彰碑 | ⑮ 草富峠と旧脊振往還 | ⑳ 倉谷地区 |
| ② 広滝館跡推定地 | ⑨ 一字一石塔 | ⑯ 岩屋 毘沙門天堂 | ㉑ 石造眼鏡橋 |
| ③ 弁財天堂 | ⑩ 大乘妙典一字一石塔 | ⑰ 広滝水力発電所 | ㉒ 三段滝 |
| ④ 兼大明神 | ⑪ 六地藏石幢 | ⑱ 倉岡神社(今屋敷) | ㉓ 脊振溪谷の桜並木 |
| ⑤ タタラ橋 | ⑫ 神埼農業高校脊振分校記念碑 | ㉔ 政所の地名 | ㉔ 城原川の段丘地形 |
| ⑥ 脊振小学校石門 | ⑬ 曹洞宗広滝山松林寺 | ㉕ 倉岡神社(倉谷) | |
| ⑦ 徳川権七翁顕彰碑 | ⑭ 高取山公園 | ㉖ 曹洞宗宝光寺 | |

駐車場

- ◆ 高取山公園
- ◆ 広滝水力発電所
- ◆ 眼鏡橋

食べ処・買物

- ◆ 岩屋うどん
- ◆ 眼鏡橋横 カジカ
- ◆ 高取山公園

トイレ

- ◆ 高取山公園
- ◆ 眼鏡橋公園



① 広滝山城跡

脊振山内在地領主の広滝氏の城跡と伝えられる山城跡です。広滝から鹿路へ至る峠に延びる標高約337mの尾根上に立地しています。最高所に曲輪と堀切が残されています。



③ 弁財天堂

元は、西に位置する尾根上に祀られていた弁財天を当地に移転再建されています。一面八臂の木像弁財天像が祀られています。



⑤ タタラ橋

兼大明神の創建伝説に伝えられる鍛冶場があったとされる場所はたたらと呼ばれ、現在の脊振小学校校庭一帯と言われています。学校前の橋をたたら橋と呼ばれています。



⑦ 徳川権七翁顕彰碑

徳川権七は、明治37年(1904)より18年にわたり脊振村長として村政を担った人物です。3,000町の造林計画をはじめ、製茶、養蚕、果樹、畜産などを奨励し、脊振村経済の発展を進めました。昭和26年にその業績を顕彰し建立されています。



⑨ 一字一石塔

元治元年(1864)に廣滝三郎右衛門により奉納された一字一石塔です。なお、再利用で裏面に明治23年蚕業の振興祈念碑とされています。兼大明神境内に建っています。



⑪ 六地藏石幢

白木川沿いに建つ六地藏石幢です。六体の立像の地藏が肉彫で彫られています。年号等はなく製作年代等は不明です。



② 広滝館跡推定地

在地領主広滝氏の居館跡と推定される館跡です。半町ほどの屋敷地が確認できます。広滝氏は、肥後菊池氏の分流とも言われています。館跡の東端に屋敷墓があります。



④ 兼大明神

日本武尊と吉備武彦神を祭神とし、日本武尊が、この地の鍛冶場で刀剣を作っていた賊川上集師の一族を討ちはらい、一社を創建し氏神としたと伝えられています。



⑥ 脊振小学校石門

高さ4.6m、重量13トンもの花崗岩の巨石を用いた石門です。大正3年3月に大正天皇即位記念と脊振の文教の振興と発展を祈念し、村民総出により建立が行われました。



⑧ 志波六郎助顕彰碑

志波六郎助は、脊振村戸長・村議会議員を務め、脊振村の産業振興と教育環境の整備に努めるとともに、早起きを奨励する活動に取り組んでいます。昭和26年に業績を顕彰し建立されています。



⑩ 大乘妙典一字一石塔

頭部が丸く加工された花崗岩の自然石を用い、正面上部に日輪を線刻し、その下部に「奉大乘妙法妙典一字一石塔」と彫られています。兼大明神境内に建っています。



⑫ 神埼農業高校脊振分校記念碑

神埼農業高等学校三分校の廃校を記念して昭和51年に建立された記念碑です。脊振分校は昭和27年4月開校・三脊分校は昭和28年5月に開校し、延べ689名の卒業生を送り出したことなどが記されています。



⑬ 曹洞宗広滝山松林寺

慶長4(1599)年に創建、異関和尚開山。開基は鍋島光茂公時代三田川町妙雲寺八代の住職隣芳和尚が隠宅として一草庵を営み、広滝三威居士の助力で、開山したと伝えられています。



⑮ 草富峠と旧脊振往還

江戸時代の神埼から脊振に至る街道です。岩屋よりこの峠を越えて広滝に至っていました。峠には、杉の巨木が残されています。



⑰ 広滝水力発電所

明治41年に完成した現役で稼働する九州最古級の水力発電所です。牟田万次郎・伊丹弥太郎らが設立した広滝水力電気株式会社により建設されています。



⑲ 政所の地名

広滝水力発電所の西は、「政所」と呼ばれています。政所は、古代の政治機関などが置かれた所で、当地に皇室領荘園神埼荘に係る施設が置かれていた可能性があります。



⑳ 曹洞宗宝光寺

元禄10年(1697)に妙雲開山、執行内蔵承開基の寺です。寺には、元禄13年(1700)に寄進された600巻の大般若経が残されています。



㉓ 石造眼鏡橋

脊振溪谷に架かる石造のアーチ橋です。明治22年(1889)から行われた県道工事に伴い、明治24年(1891)に完成しています。神崎市唯一の石造眼鏡橋です。



㉕ 脊振溪谷の桜並木

岩屋から広滝高取山公園に至る城原川の溪谷沿いに昭和30年に植樹された桜並木です。県道沿いに約70本の桜が春に花を咲かせます。



㉙ 高取山公園

高取山とその山麓に整備された多目的公園です。山頂から滑る全長200mのローラー滑り台や多目的広場、脊振の野菜などを販売するわんぱく館が整備されています。



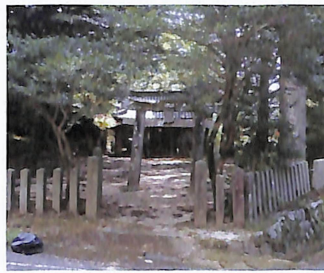
㉞ 岩屋 毘沙門天堂

岩屋地区の毘沙門天を祀るお堂です。8月には毘沙門天祭りが地区により行われています。



㉟ 倉岡神社(今屋敷)

素盞鳴命を祭神とする神社です。倉谷の倉岡神社地から五・六町西に大蛇が出て往来の人を書し、景行天皇がこれを退治されたと伝えられています。



㊱ 倉岡神社(倉谷)

社伝は「景行天皇が西国平定の際この地に登り、倉庫を今の地に置かれた。倉庫を置いた場所に素盞鳴尊を祀り倉岡社と呼んだ」と伝えられています。



㊲ 倉谷地区

倉谷川の上流谷合に営まれる集落で「倉谷」と言われます。倉谷の地名と倉岡神社の創建を伝える社伝より、皇室領荘園神埼荘・櫛田宮との深い関わりを持つ地域です。



㊳ 三段滝

大きく3段に流れ落ち、落差約5mほどあります。流れ落ちる滝の水音が谷に響き渡ることから当地が「広滝」と呼ばれるようになったと伝えられています。



㊴ 城原川の段丘地形

広滝の中央部を流れる城原川は、流域に河川地形である河岸段丘が形成されています。高取山公園北の水田部は段丘地形の特徴を知ることができます。